

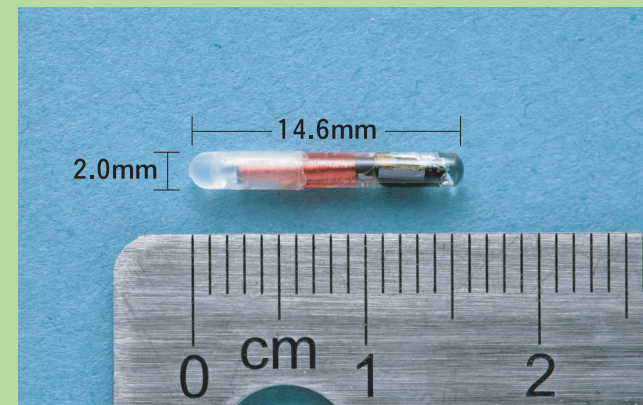
マイクロチップの導入について

競走馬の個体識別法として、白斑や旋毛等の特徴に加え2007年産駒からマイクロチップを導入します。すでにイギリス、アイルランド、フランス及びオーストラリア等の競馬開催国で利用され、アメリカでも導入が検討されています。

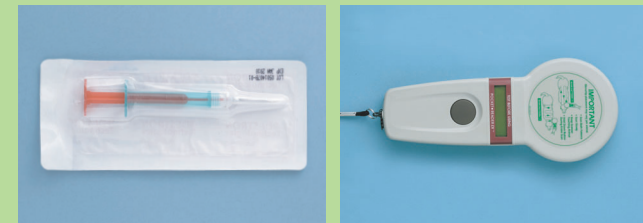
チップの概要

特徴

ISO規格 11784 及び 11785



拡大図



マイクロチップ注射器

リーダー

- リーダーから発信される電波が電磁誘導によりマイクロチップ内のコイルアンテナに電力を発生させる。
- マイクロチップから応答電波が発信される。
- リーダーが応答電波を受信し、15桁のマイクロチップ番号を表示する。
- 同一番号は存在せず、データの改ざんは不可能。

マイクロチップ番号の例

15桁のマイクロチップ番号例

392 11 XX XXXXXXXX

日本国 動物 代理店 個体番号

個体番号には、性別・毛色・特徴などの馬固有の情報は一切含まれませんが、データベースとの照合により、確認が可能です。

2007年以降に生まれた産駒から、マイクロチップが埋め込まれていない馬は日本国内では(中央・地方問わず)出走できなくなります。

